

平成22年度学校評価

北九州市立二島中学校

本校は学校の教育目標の具現化を目指し、重点課題解決に向けた具体的な方策に取り組んできました。以下は重点課題における具体的な方策に対する生徒・保護者アンケート及び学校自己評価の平均です。最高を4、最低を1とし、中央値を2.5で示しています。

項目	生徒	保護者	職員
A 毎日楽しく学校に行っている。	3.5	3.5	—
B 体育大会は団結力や創造性が感じられる充実した取り組みだった。	3.6	3.4	—
C 文化祭は創造性が感じられる文化的に充実した取り組みだった。	3.5	3.3	—
1 家庭学習の手引きを活用させ、基礎学力の定着を図る。	2.8	2.5	2.5
2 魅力ある授業、分かりやすい授業を通して生徒の学習意欲を喚起し、学力の向上につなげる。	3.3	2.8	2.9
3 図書館利用のマナーの定着とよりよい読書習慣を確立する。	3.4	2.9	2.9
4 学習内容に応じた少人数指導を計画的に取り組む。	3.5	3.0	2.9
5 各教科及び総合的な学習の時間等で、パソコン・地デジTV又は電子黒板等を活用した授業を計画的に実施する。	3.4	2.8	2.9
6 サポートルームや少人数教室等を利用し、質問教室を実施する。また、夏の教室を開き、基礎学力の定着を図る。	3.1	3.0	3.0
7 学校の教育目標の具現化を図り、円滑で組織的な学校運営を確立する。	3.3	3.0	3.0
8 教職員の専門性を高める校内研修（授業実践、食育研修、生徒指導研修、情報研修、学習研修）を計画的に行う。	3.4	2.9	2.8
9 道徳の時間を年間35時間年間指導計画に基づき実践し、生徒の実態に応じた道徳資料の準備や心のノートを利用して涵養的な指導方法の工夫改善を行う。	3.1	2.9	2.9
10 職業調べ、職場（農業）体験学習、上級学校調べを計画・継続的に行い、進路決定に向け体験入学や進路説明会等を実施する。	3.3	2.9	3.6
11 月1回の専門委員会及び学級での報告と討議を定着させ、生徒の生徒会活動への参加意識を高める。	3.2	3.1	2.8
12 人権作品の取り組みを積極的に行い、人権啓発映画や視聴覚教材を活用した人権教育を計画的に行う。	3.2	3.0	3.4
13 総合的な学習の時間に於いて、「生徒が生き方を考え、生き方を学ぶ」をテーマに、体験活動や問題解決的な学習を重視した教育活動を行う。	3.3	2.9	3.3
14 年間を通じて給食を生きた教材として、計画的に食に関する指導を行う。	3.1	2.9	3.3
15 各教科及び総合的な学習の時間等視聴覚機器（CDカセットデッキ、DVDVHSビデオデッキ、プロジェクター等）を活用した授業を計画的に実施する。	3.3	2.9	2.9
16 不登校にならない教育活動を推進する。	3.0	2.9	2.9
17 生徒理解・共通理解・共通実践のための「報告・連絡・相談」「確認」を徹底するとともに家庭とのきめ細かな連携を図る。	2.9	2.8	3.3
18 挨拶や身なりについての指導を徹底して行う。	3.3	3.0	3.6
19 月1回の安全点検や不審者対応の校内研修を行うなど学校の安全に努める。	3.3	3.0	3.3
20 掃除監督を行い、清掃指導を徹底して行う。	3.5	3.1	3.5
21 年度当初の各種健康診断や日々の健康観察などに取り組み、流行性の感染症等にも迅速かつ適切に対処する。	3.2	3.1	3.7
22 外部講師を招聘した避難訓練や非行（薬物乱用）防止教室、3年生を対象とする救急救命講習会を実施する。	3.5	3.1	3.5
23 保護者アンケート、生徒アンケートを元に学校自己評価を作成し、学校関係者による学校評価を実施する。	3.2	3.0	3.2
24 学校通信、授業公開、ホームページの更新等で情報公開・情報発信に努める。	3.1	3.0	3.6
25 発達障害を含む障害のある生徒の実態を十分に把握し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行う。	3.4	3.2	3.4

A：よくそう思います B：だいたいそう思います C：あまりそう思いません D：全くそう思いません

A：はい B：だいたい～いる C：あまり～ない D：いいえ

A：4点 B：3点 C：2点 D：1点

中央値は2.5点

22年度末にこの学校評価結果については職員会議にて反省・検討を行います。この結果を参考によりよい学校づくりを心がけていきます。